



イルミネーション再び点灯(12/12)・・・2月中旬頃まで

<準備編>

昨年度、九中元校長のお声掛けをいただき、市の事業「学校地域連携ステーション」を活用して防犯イルミネーションを立ち上げました。今年で2年目です。

学校周りを明るく照らし、子どもたちや地域の方の防犯上の安心感を得るために始めたことは一番ですが、もう一つ大きな目的があります。一つのことを大人も子どもも一緒に取り組むことで様々なつながりができていってほしいということです。

本校の点灯式の翌日、九中でイルミネーション設置の準備をされていましたので、お邪魔したのですが、そもそも九中のイルミの規模が比喩物にならず、大量のチューブイルミなど資材がてんこ盛りになっているところに、中学生・保護者・地域・元職員など様々な立場の方が一斉にフェンス越しに作業されていました。聞けば9年目ということだそうです。

今年も反省としては、PTAさんに立派なチラシを作成していただいたのですが、私の地域への周知が不足し、点灯式のことすら知らなかったと言われる方もおられたりしましたので、次年度は早めに計画を立て、少しでも関わっていただく数を増やせたらと思います。

しかし、今回も警備員さんやPTAイルミネーション班の方や、実行委員のみなさんが作業いただくなかで、「ちょっとお手伝い良いですか?」と通りすがりに何人からお声掛けいただいたことか。嬉しい限りです。放課後、お友達と遊ぶ約束をして学校前で待っていた子が手伝ってくれ、どんどん人が増えていったりした日もありました。中には、懇談中でしたので、終わられた保護者の方や子どもたちに無理やり???協力いただいたところもありました。こうして、ちょっとやってみた、手伝ってみたという感覚からこの行事を通して学校とのつながりに有用感を少しでも持ってもらえたら有難いなと思っています。

さて、今回の構想は大きく、「万博」に因んだ内容にまとめられたらと、最終的にミャクミャク・ブルーインパルスを中心とする絵のコーナーの部分と、言葉の部分でまとめてみました。その際、昨年度スチールネットに作っていただいた校章、たぬきちの相方?はそのまま採用し、文字の部分は、6年生が考えてくれたデザインの一部を採用しました。また、「万博」を意識し、日本語「こんにちは」から始まり、他国語の「こんにちは」をいくつか集めてみました。中国語「你好(ニイハオ)」、韓国語「안녕하세요(アンニョンハセヨ)」、英語「HELLO(ハロー)」、そして、点灯式のあとに2か国語を追加しました。イタリア語「Ciao!(チャオ!)」、フランス語「Bonjour(ボンジュール)」です。いろんな国の人たちが国境を越えて「困った人を助ける」、そんな子どもたち、地域であることを願って作成しています。



昨年よりも進化した部分として、桜の木が伐採されたことでイルミに高さを出すのが難しかったのですが、これを解決してくれたのが、ブルーインパルスでした。しかし問題が…。続きは、次の号で。

